

●**昼食花見会** 4日(木) 3月下旬の気候はどんなに早く桜が咲きだすのかと随分期待が高まりました。しかしいざその頃になってくると蕾の膨らみが弱く春本番は訪れてはくれませんでした。多分昼食花見の4日にはやっと4分咲というところでした。去年は同じころ見事に咲きほこっていました。今年の4日は満開には程遠いものでした。花は少なめで風が強かった割には適温でしたので、いい花見会になりました。里山農園にもお越しになり、乗船体験にも来られていた篠原さんご友人連れのお二人が7~8人のお子さんたちも来られて昼食休憩となりました。にぎやかにひと時を過ごしました。森さんが腕によりをかけて持参いただいたバラ寿司が大変美味しくやはり「花より団子」でした。皆さん揃って美味しいとの連発でした。七草摘みから始まった取り組みの連続、特に2月の地域説明会のラッシュアワー的な強行軍は大変でした。ご協力いただいた皆さんも暖かな花見と美味しいお寿司で大満足でした。ほんの少しでしたが気分も満腹でした。まさに忙中閑ありの愉快的ひと時でした。参加できなかった皆さん次のひと時4月13日の「野草を味わう会」には万障繰り合わせてご参加くださいね。

●**親子花見乗船体験** 3月31日(日)の取組みについてスケジュールをお知らせしておきます。

25日 馬坂川 雑草刈り 買い物袋ゴミ多数 26日 貯水始まる 27日(水) 乗船場作り
6人が作業 つばみ大きく膨らむ 28日 桜開花直前 29日 桜開花 30日 10:30 有田さん
さんが寝屋川市へEボート借用に出かける 31日(日) 親子花見乗船体験 8:30 準備開始 Eボ
ート空気入れ:男女子学生3人 9:00 スタッフ集合時間 10:00 開会式 10:20 Eボート・カヌ
ー乗船開始 14:00 最終乗船者で終了 昼食は各自適宜に時間を取る 14:30 閉会式 15:00 後始
末開始 15:00 カヌーを返却笠置(太田さん山村) 15:30 Eボート返却寝屋川へ(有田さんと学生
さん) 17:00 後片付け完了解散

●**18年度京都府地域力再生プロジェクト事業交付金事業報告書提出** 10日8つの事業を総括しました。
①**親子で遊ぼう学ぼう魚とり**:親と子が共に学ぶ場を提供し自然に触れる場とする。7月~8月(木津川市・京田辺市・城陽市)7回開催予定……渇水・熱中症発生・増水などで3回も中止になりました。
②**中聖牛の設置**:第2次増設を行い効果を測定する川づくりを住民の手で行う場とする。(井手町)……計画通り12月15・16日に3基の竣工をやり遂げました。
③**竹蛇籠の修復**:伝統河川工法の伝承を図り、普及をはかる(井手町・京田辺市)……竹割機を作り、淡竹などでの試動を行い、最終的に扱いやすい真竹に落ち着きました。そして、4日間の蛇籠製作講習会を実施、10月に集中して30本の蛇籠を完成しました。
④**希少植物生育地図化**:木津川生育植物の生育地のCD化……一部不十分な面も見られたが、生育調査、除草作業を終了できました。報告資料も製作できました。
⑤**カスミサンショウウオ**の生育池の水位測定器の設置:希少生物の生育環境を継続的に測定する装置を設置する。(京田辺市)……ナラ枯れ木除去、獣害防御柵設置及び夜間撮影装置の完成、撮影資料の整備も完璧に仕上がる。
⑥**県外研修**:コウノトリの復元で地元再生の取り組みを学び、里山農園に生かす。兵庫県(豊岡市)……地元国交省豊岡事務所のお世話で内容のある視察研修会となる
⑦**京都子どもの水辺**:水辺での活動発表から学びあい交流をはかる場の提供をする。8月18日(八幡市:さくらであい館)……不十分な準備態勢のもとでも多数のご参加があり、周囲の歴史、昆虫など自然観察、そしてカヌー体験等ふだん経験できない体験とワークショップで効果ある取り組みとなった。次回につなげられると思う。
⑧**木津川はどんな川現地説明会**:木津川の役割、山城地域の歩みを知る展示と講演を実施し、地域力再生への一助とする。(南山城村・和束町・精華町・井手町・久御山町)……去年の市域に引き続く町村域での取り組みだったが、充実したイベントとなった。特にその地域の歴史的遺跡などを尋ねられたのが魅力的だった。

●琵琶湖-淀川流域圏連携交流会幹事会 8 日(月)19 時淀川河川事務所で開催 11 人出席 定期総会 5 月 26 日(日) さくら出会い館に確定され事業計画の一つに、木津川の中聖牛の見学とシンポの開催及び蛇籠製作体験を行い 100 人規模の大イベントの開催を総会に提案する事をになりました。その節には皆様のご協力をお願いします。

●乙訓の自然を守る会から里山の会の活動の視察を 5 月下旬～6 月上旬にお訪ねしたいとの連絡が届きました。乙訓の自然を守る会は、里山の会の発足以前から京都西山地域の自然を守ろうと多くの専門分野の活動団体が集合して力を合わせて大きな力を発揮している 400 人会員を持つ立派な成果を誇っている組織です。2 年前結成された自然環境保全京都ネットワークの中心的な組織で獣被害から貴重植物の保護を守る活動、そしてその管理保全を自主財源で保護管理案内を継続されている民間団体です。やましろ里山の会の大先輩で立派な成果を収めておられる団体です。学びに来られるということですが、里山の会としては、大いに教えていただき学べるいい機会としてお越しを受けることにしました。その折には多くの皆さんのご出席をお願いいたします。

●新木津川出張所所長さんへの挨拶と話し合いの時間を 16 日(火)午前中にお願ひしました。里山の会の要望を伝えるよい機会です。10 日の事務局会議では次の項目をお伝えしようと話し合いました。①河川協力団体の活動紹介 ②中聖牛設置への協力と共同 ③木津川流域センターの充実(電話 印刷 事務所使用) ④水没ドアの常時設置と公開 ⑤展示場使用 ⑥右岸プロムナードの開設(開橋～玉水橋)。これ以外にも話し合ってほしという課題にお気づきでしたら、また聞いておいてほしという疑問があれば里山の会事務所にご連絡をお願いいたします。ご連絡をお待ちしています。

●津川文夫さんご逝去 4 月 5 日。6 日お通夜、7 日に葬儀をすまされました。里山の会は第一報を 8 日にお聞きして正午過ぎに三役と農園関係者が集まって対応策を相談しました。津川さんには、だれ一人として病身とは知らずに大変な作業を行っていただきました。そして素晴らしい農園に形を整えてくださり、遺産として残していただきました。病身のところを押して、特に力を入れていただいたのが 農園の草刈りで 14 号 15 号 11 号 10 号地です。そして 5 号地から 8 号地への排水溝の溝堀り作業で深く掘り下げていただく重作業でした。その結果排水機能がアップして 5 号地の湿地が生まれ変わりました。木津川希少種生育調査管理業務での春の草刈りと集積作業で頑張っていただきました。そして今、満開となっている農園の菜の花の種まきでした。わずか 1 年間という短期間でしたが、これまで手を付けるのが困難な作業をコツコツ少しずつ手を加えていただき楽しめる農園の実現に熱意を発揮頂きました。本当にありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。相談の後、播川理事長と金田徹さんが弔問に伺いました。11 日には里山の会を代表して大村理事長、森島さん、金田さんが弔問いたしました。

●野草を味わう会

4 月 13 日(土) 里山農園 10 時 普賢寺小学校前

詳しいことはホームページ トップページ イベント情報をごらんください

●ヤマトサンショウウオ(カスミサンショウウオ)

京大大学院の松井正文先生らが今年 2 月に発表された論文で、従来西日本にいた旧カスミサンショウウオは今回 9 種類のサンショウウオに分類されました。この論文では分布域を完璧にカバーしたサンプリングを行い、ミトコンドリア DNA の cytb 領域による遺伝子解析と詳細な形態計測に基づき、分類学的な整理を行っています。その結果、京都府南部にいたカスミサンショウウオは「ヤマトサンショウウオ」と命名され、「カスミサンショウウオ」という名称は九州にいる個体を示すことになりました。桜谷先生からも当分は、ヤマトサンショウウオ(カスミサンショウウオ)という書き方が良いのではというアドバイスをいただいています。